



米の発明見逃すべからず

1

米の成分、育成方法などが特許になる

何気なく行っている作業を付加することで、オリジナルの方法（発明）となる場合がある。

例えば・・・

ある醤油会社が、玄米黒酢を生育途中の稲の葉面に散布することで、稲の生長の促進、米の収量増加、いもち病予防に効果を発揮するという技術で特許を取得！（特許第4394785号）

JAの場合

成分

JAこまち（秋田）が、血圧上昇抑制などの効果があるGABA（ γ -アミノ酪酸）が多量に含まれた玄米の生産方法で特許を取得！（特許第3763065号）

育成方法

JAえちご上越（新潟）が、所定の時期における水稻の生育状態（茎の本数や葉色等）を早見盤の表示ガイドに従って確認することで中干しや穂肥施用の適期の情報を得ることができるという技術で特許を取得！（特許第5143865号）

2

特許を取得するメリット

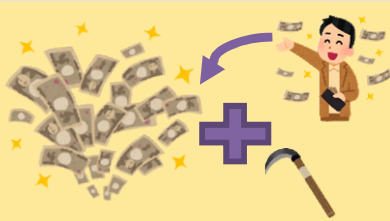


高品質

成分の開発による
高品質米の提供



農作業効率UPの
方法を確立



商品売上＋使用
料を得られる



融資を受けやすくなる



特許第〇〇〇〇号

特許表示による技術保証

・・・など

3

特許について調べる！



図：J-PlatPatより

特許、実用新案、意匠及び
商標の公報等を無料で検索・
照会可能なデータベース
（特許庁）で調査可能

J-PlatPat HP



J-PlatPatの詳しい使い方

